

2022年度湘南OT交流会 「1.人間作業モデル 意志事例」

意志の側面に焦点を当て OBPでの介入を行った 失語症患者の事例

済生会小樽病院 リハビリテーション室 作業療法課
吉備国際大学通信制大学院 修士課程2年

齋藤駿太

意志とは

- 意志とは

- • • 作業に対する動機づけをさす

- 興味

- • • 自分が行うことに重要さや意味を見出すこと

- 価値

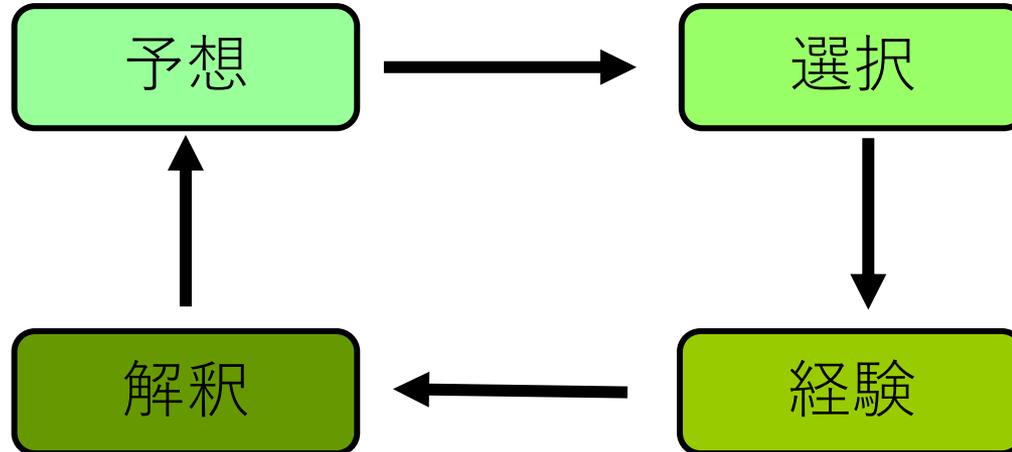
- • • 自分が行うことに楽しみや満足を見出すこと

- 個人的原因帰属

- • • 自分の能力（有能感）と効力性（有効感）の認識

意志とは

自分が行うことを予想し、選択し、経験し、解釈する時に生じる世界の中での一人の行為者としての自分に関する考えと感情のパターン



基本情報

- A氏 70代男性 独居
自宅内で倒れているところを近所の友人が発見
- 右中大脳動脈領域に散在性の多発性脳梗塞を認め入院
JCS- I -3 左片麻痺（Br.stage 上肢Ⅴ、手指Ⅴ、下肢Ⅴ）
- ブローカー失語（運動性失語）
文章理解と言語理解は比較的良好だが、表出は単語レベル
- 軽度の左半側空間無視、全般性注意機能の低下
- HDS-R 22/30 MMSE 21/30
- 当院とは別の急性期病院で3週間入院後、キーパーソンの姪が近くに住んでいる当院回復期病棟へ転院



運動性失語（ブローカ失語）

言葉は理解できるものの、文の構造をうまく組み立てられず、単語や短文でしか言葉が出てこない

脳の前頭葉側に障害が起きた場合に多く、会話や文章の意味は理解できるが、うまく話すことができない。話し方がぎこちない

入院時の様子

- 病室に閉じこもり、日中のほとんどはベッドで臥床している状態
- リハビリテーションに対しては、問いかけに対して、Yes/No(頷き/首振り)の反応はあるが、離床に対しては拒否的な様子がみられた



何事に対しても、無気力・・・

病棟内生活

セラピストが声をかけても、
首を振って離床拒否
もう何もできないと発言



ADL(更衣、トイレ)は見守りレベルの能力はあるが、
自発的に行う様子はなく、排尿・排便は失禁

病棟Nsや介護福祉士からの問いかけに対しても、首を
振って拒否する様子がみられる。

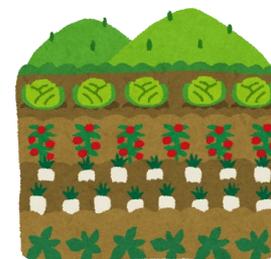
失語症のせいもあり、自発的な表出はほとんどなし。

急性期病院では、意思疎通の困難さにより、
少しずつ表出が減っていたとの情報あり・・・

作業療法評価

ADOCによる面接

作業	反応	満足度/重要度
将棋・囲碁	何度もイラストを指さす様子あり。 やりたいとも発言あり。	満足度1/重要度5
買い物	天ぷらと発言を繰り返す	満足度1/重要度5
畑仕事	やっていたと発言	満足度1/重要度5



しかし、具体的な内容は聴取できず・・・
そのため、ご家族・ご友人から情報を収集

ご家族・ご友人への情報収集

ご家族からの情報

- **自分の好きなことを自由にしていた人！**
- 話好きであり、友人は多かった！**身だしなみにも気を使っていた。**

ご友人からの情報

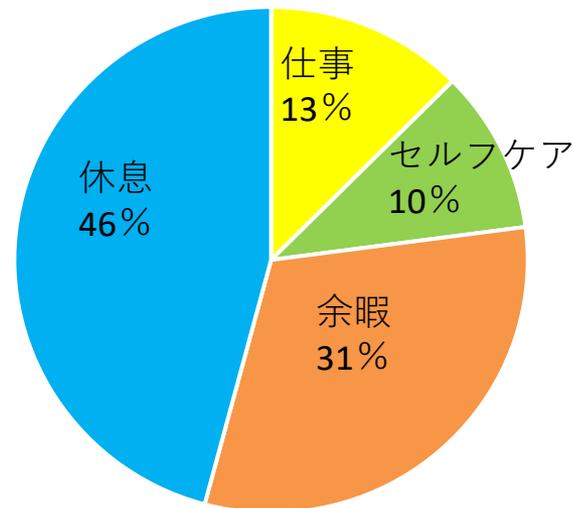
- **A氏が中心となり、周囲に声をかけ、**
ほぼ毎日、近所の友人と**将棋や囲碁**をして過ごしていた！
(成績表も作っていた)
また、**知り合った人を積極的に将棋・囲碁に誘って連れてきていた！**
- ご友人の**畑作業**を手伝っていた！
- 毎日買い物に行って、**天ぷら**を買っていた・・・

作業質問紙 (OQ)

- 日常のスケジュールにおいて、回答者がうまく処理できないと感じる時間や活動と、時間の使い方に関するバランスの障害を明らかにするたために開発されたものであり、回答者の年齢や障害を限定せず、すべての人に用いることができる。とされている。
- 実施手順：回答者が典型的な平日と週末の各1日の中で行っている諸活動を30分間隔で記録し、各活動に対する認識を有能感、価値、興味などの視点から明らかにする。

6:30	睡眠
6:30~7:00	朝食
7:00~8:00	身だしなみを整える
8:00~9:00	テレビ
9:00~11:00	畑
11:00~12:00	買い物
12:00~12:30	昼食
12:30~13:30	昼寝
13:30~17:00	将棋、囲碁
17:00~18:00	テレビ
18:00~18:30	夕食(天ぷら)
18:30~20:00	テレビ
20:00~20:30	入浴
20:30	睡眠

入院前

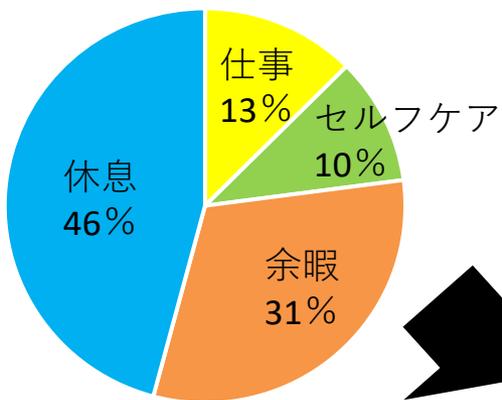


- ・ 身だしなみの時間も意外と多い！
- ・ 余暇（将棋、囲碁）の割合が多い！
- ・ 仕事として、友人の「畑」の手伝いもしている！
- ・ 夕食は好物の天ぷらを食べていた

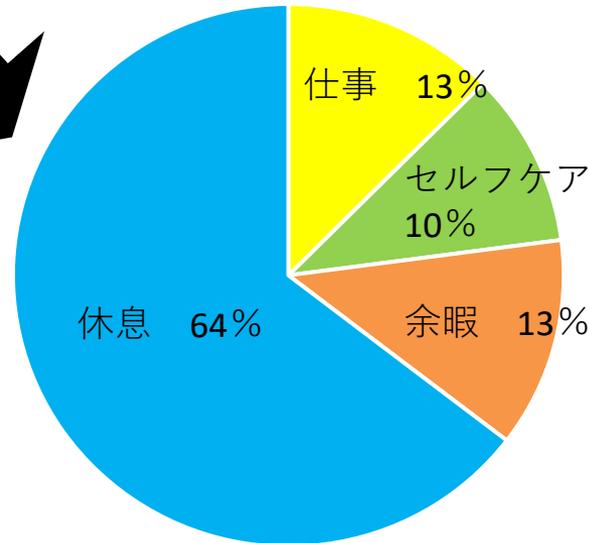
入院生活

7:00	起床
7:00～7:30	朝食
7:30～8:00	整容
8:00～9:00	臥床
9:00～10:00	OT
10:00～11:00	臥床
11:00～12:00	ST
12:00～12:30	昼食
12:30～14:30	臥床
14:30～15:30	PT
15:30～16:30	テレビ(時代劇)
16:30～18:00	臥床
18:00～18:30	夕食
18:30～19:00	整容
19:00～21:00	テレビ
21:00～	睡眠

入院前



入院生活



入院前と比較して、入院生活は余暇の時間が減少している！
 そのほとんどは休息であり、リハビリは仕事と捉えている！

意志質問紙 (VQ)

- VQは、作業の観察に用いられる評価法であり、活動中に観察される反応を16項目の評価領域で捉え、「自発的」、「巻き込まれる」、「躊躇的」、「受身的」の4段階で評定する評価法である。
- 作業に対する価値・興味・個人的原因帰属という意志を反映する行動が観察可能で、言語的コミュニケーションを必要としないため、言語の問題を有する対象者や認知症の方へも実施可能

VQ結果

評価領域	将棋・囲碁	セルフケア	機能訓練
1 好奇心を示す	4	3	3
2 行為/課題を始める	4	2	3
3 新しい物事を試みる	3	2	3
4 誇りを示す	3	3	3
5 挑戦を始める	3	2	3
6 もっと責任を求める	2	2	2
7 誤りや失敗を訂正しようとする	3	3	2
8 問題を解決しようとする	3	2	3
9 好みを示す	3	3	2
10 完成や達成のために活動を続ける	3	3	3
11 活動に就いたままにいる	3	3	3
12 もっとエネルギー、感情、注意を向ける	3	3	3
13 目標を示す	3	3	3
14 ある活動が特別であるとか意味があることを示す	4	3	3
合計得点	44	37	39

将棋・囲碁に興味を示し、自発的に開始する様子あり。

実際に将棋・囲碁で対局場面の観察

- ・対局は30分程度、集中して可能
- ・勝てば笑顔、負ければ苦笑いする様子あり
- ・他局が終わると軽く会釈だけして、そのまま立ち去ろうとする
- ・楽しかったとは言うが、今後実施することを勧めるも、首を振り拒否

失語症の影響で、他者とコミュニケーションをするのを避けているのか？

観察評価

興味・関心

作業を観察して考える

- ① 粗大
- ② 巧緻
- ③ 一人で
- ④ 集団で
- ⑤ 勝ち負け有
- ⑥ 勝ち負けなし
- ⑦ 知識を必要とするもの
- ⑧ 知識を必要としないもの

観察評価 自己効力感

GSES一般性セルフ・エフィカシー（自己効力感）尺度などの評価がありますが、実施困難のため・・・



できないよ
・・・

- 「できる」と思う気持ちのレベル
- レベル0 必要な能力がないと思う
- レベル1 必要な能力はあると思う（能力の自覚）
- レベル2 必要な行動はできると思う（効力予期）
- レベル3 良い結果を出せると思う（結果予期）

レベル1

できる能力がある程度はあると感じているが、
「上手くできるかわからない」「失敗するかも」などと心配する発言や、表情も不安げになりやすい

観察評価 自己効力感

ちなみに・・・

- レベル0 必要な能力がないと思う

「腰が痛い」「目が見えない」「疲れる」など、心身の不調を訴えることが多く、表情から意欲を感じる事が少ない

- レベル2 必要な行動はできると思う (効力予期)

必要な行動はできると感じているが、「昔のようにできない」「人前に出すなんて恥ずかしい」など、達成度や完成度を気にする発言が多い

- レベル3 良い結果を出せると思う (結果予期)

「できる」と思う気持ち安定して備わっている状態

ちなみに現在のFIM

食事	6
整容	4
清拭	5
更衣(上半身)	5
更衣(下半身)	5
トイレ動作	6
排尿コントロール	4
排便コントロール	4
移乗(ベッド等)	6
移乗(トイレ)	6
移乗(入浴)	6
移動	5
階段	4
合計	66

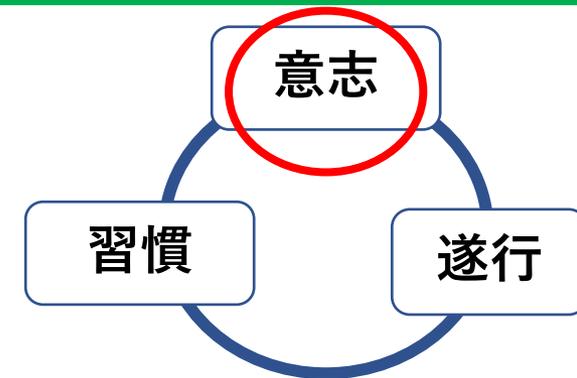
理解	6
表出	3
社会的交流	4
問題解決	4
記憶	6
合計	23

現在の状態

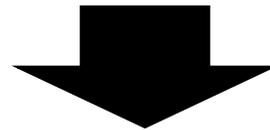
- セラピストと一緒に時折、将棋・囲碁を行うようにはなったが、依然として自室に戻ると病衣に着替えて臥床してしまう。
→理由：「好きなときにできない！」
- 能力としては、病棟内ADL自立に変更してもよさそうだが、声かけしないと行わない、そもそも行わないことあり。
→理由：「やらなくてもいい・・・」
- 今後の方向性は、グループホームへの退院を検討

ディスカッション タイム！

ディスカッションの話題提供



- 今回のテーマは「意志」です！
- 意志に絞って検討をお願いします 各種評価ツールの情報を
読み取り，A氏の**興味・価値・自己効力**の側面を判断して・・・



A氏の興味・関心を刺激することが、できる介入方法
(作業を検討) してください！

※作業は一つないし、複数検討してもいいです。
またその作業を行うための環境の調整まで考えていただけると、なお良いかと思えます！

ディスカッションの話題提供

興味・関心

- ① 粗大
- ② 巧緻
- ③ 一人で
- ④ 集団で
- ⑤ 勝ち負け有
- ⑥ 勝ち負けなし
- ⑦ 知識を必要とするもの
- ⑧ 知識を必要としないもの

作業を選択する際は、上記の興味・関心に当てはまる作業の検討をお願いいたします！

回答例

OT評価のまとめ

① **ADOC** . . . やりたい作業はある（将棋・囲碁、買い物、畑作業）

② **OQ** . . . 休息の時間が増え、余暇が減った

③ **VQ** . . . 好きな作業には、意欲を示すが、現在は受け身

④ **観察評価**

価値：**他者交流、他者貢献、**
自分の好きなように生活する

興味：将棋、囲碁などの**他者と行う勝負事！**
他者貢献できる仕事！

自己効力感：低下しており、作業を行う手段・環境もない！
（失語症の影響も大きい）

回答例

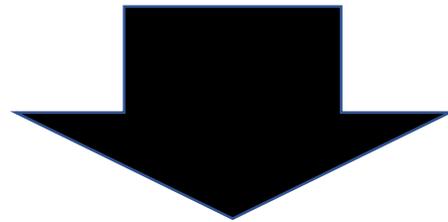
他者との交流、他者貢献するような作業に価値をおいているが、失語症によるコミュニケーションの問題、元の生活と大きく異なる作業バランスの変化により、興味ある作業（将棋・囲碁、畑作業、買い物）に従事することができなくなっているのでは？

つまり . . .

以前の**作業バランス**と大きく変化！

自ら**作業選択**し、遂行できる環境もない！

失語症のため、周囲の人々と上手くコミュニケーションを図れず、**自己効力感**も低下している！



- 今後の人生への希望が見いだせず、臥床するという選択が、A氏が自らできる唯一の選択になっている

具体的な介入内容の検討

介入内容の検討

- ①評価結果から、介入の焦点は？
- ②挑戦に導くには？
- ③介入内容は？
- ④効果検証は？
- ⑤ゴールは？

意志の側面に働きかける

自分で**作業選択**し、**他者とコミュニケーション**を取れる手段や環境がない！

そのため、もう自分は何もできないと考えてしまい、**自己効力感も低下**し、臥床して過ごす日々が続いている。



ADOC、VQの結果より「将棋・囲碁」に対する意欲は高い！！



他者との「将棋」、「囲碁」が日課であったため、まず自分で選択して行える方法と他者交流を促進する環境づくりを検討しました

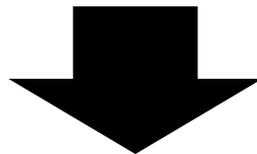
①介入内容の焦点は？

②挑戦に導くには？目標は？

I. 他者交流を促進し、意味ある作業を通じた成功体験により、様々な作業への波及効果をねらう（きっかけ 将棋、囲碁）

II. 失語症への介入（最低限のコミュニケーションスキル、
作業を手助けする代償手段の検討）

III. もとの生活に戻るための課題共有（作業バランスの調整）



自己解決能力を身につける

①GH退院後も、友人を作り、将棋・囲碁などを通じた他者交流ができる。

②ご家族の支援で、買い物にいける

③他者貢献できるような役割の検討

③介入内容

I. 他者交流・意味ある作業への支援

II. 失語症への介入

将棋・囲碁する
方 募集中！！

- ①STに「やりませんか?」、「お願いします」、
「参りました」、「ありがとうございました」
将棋・囲碁に必要な4つを単語の練習を依頼



- ②将棋・囲碁できる人募集と書いたプラカードを持って、
A氏と各病室を訪問を実施。

→仲間が3人ほど見つかる

- ③将棋、囲碁やりましょうカードを作成し、
他患を誘うときに使用してもらう

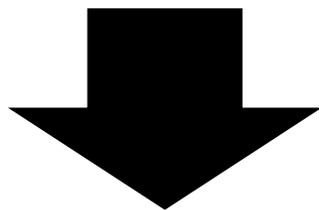


Ⅲ.元の生活に戻るための課題共有

意味ある作業に従事する中で、課題を感じてもらい、元の生活に戻るための課題を共有

今回の場合は・・・

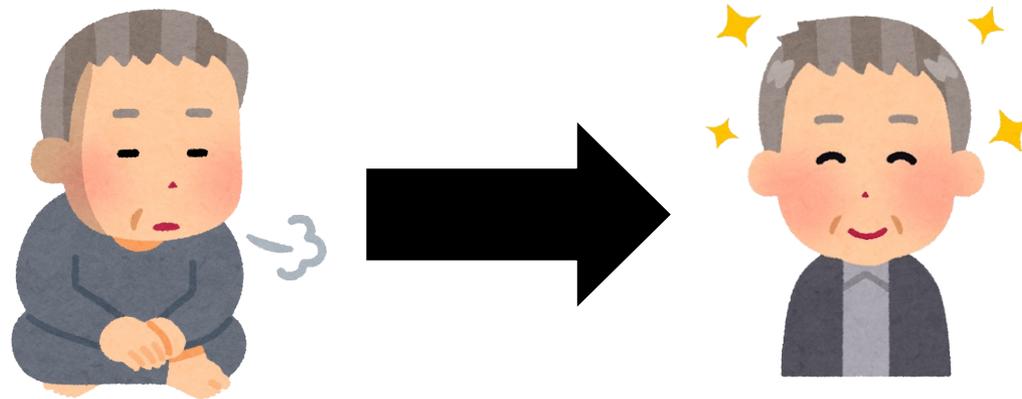
他者と一緒に将棋や囲碁をするなら、身の回りのことは自分でできた方がいいんじゃないですか？



A氏本人に、作業に従事することで、現在の課題を考えていただく

Ⅲ.元の生活に戻るための課題共有

すると、徐々に整容、更衣、トイレなど自発的に行うように変化



リハビリテーションの時間表も渡し、自分でリハビリテーション室まで来ていただくなど、時間管理も実施

そのままの勢いで

意味ある作業への従事を通じた成功体験を通して、**自己効力感の向上を図る！**

自己効力感の誘導法

- ①**達成経験**：成功体験を積み重ねる事
- ②**代理経験**：他人の成功体験を見たり知ったり
- ③**言語的説得**：他人に励まされること
- ④**情動喚起**：心身を健康な状態に保つこと

A氏の意志の側面が変化

買い物に行きたい、**麻雀**をしたいと希望が聞かれる！

スーパーへの外出訓練

→好物の天ぷらを購入

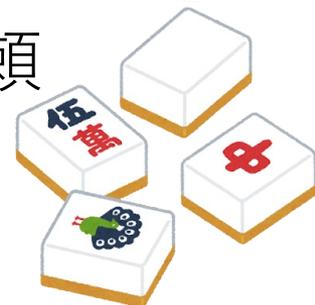
→入院中も売店に行くように変化



麻雀

環境はセラピストが整えたが、実施は問題なく可能。

新たに、STに「ロン」、「リーチ」、「ツモ」、「ポン」、「チー」、「カン」を言えるように発話練習を依頼

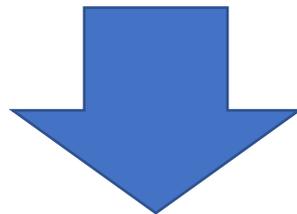


さらに！！



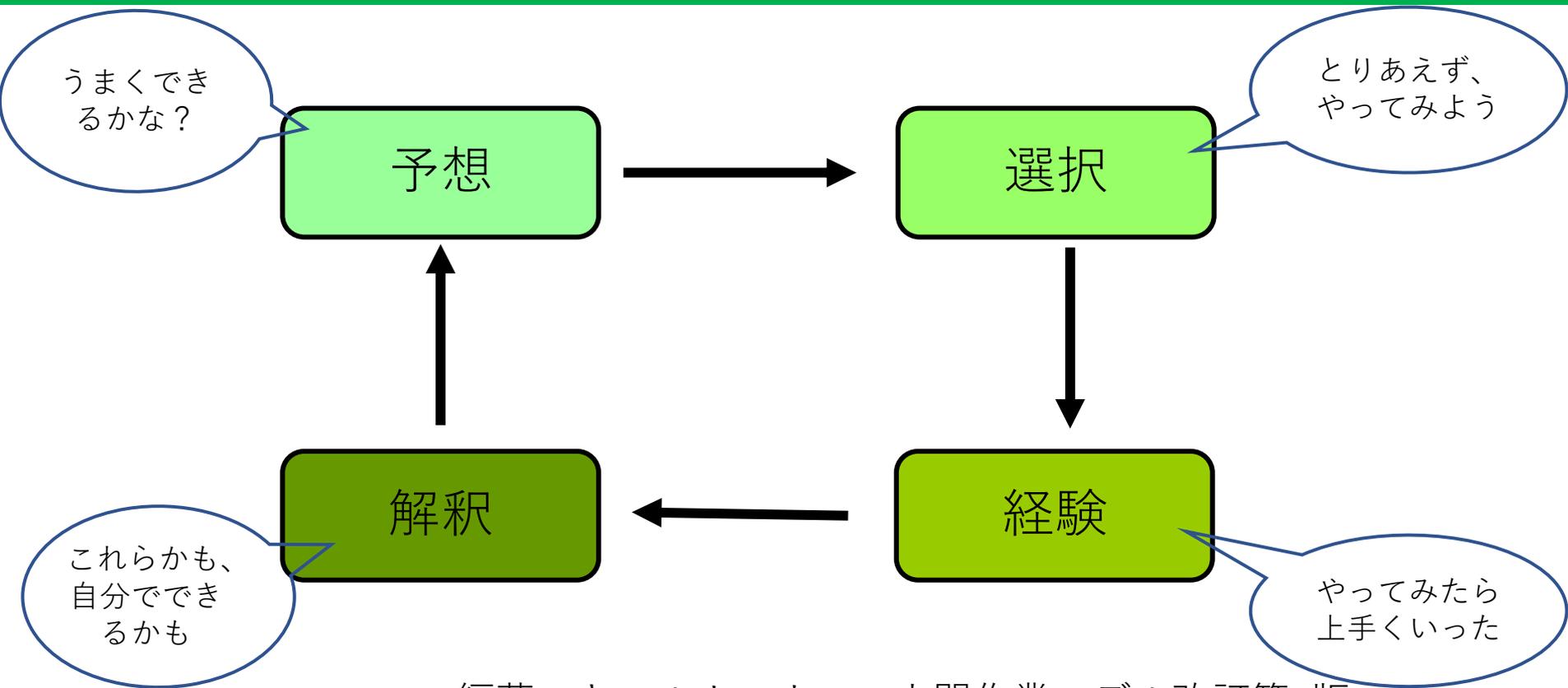
他者貢献をしたいと変化

- リハビリテーション室の畑作業
- 回復期リハビリテーション病棟の夏祭りの手伝いなど



積極的に作業に参加していただく機会の提供！！

「意志」の側面の循環



Renee R.Taylor編著 キールホフナーの人間作業モデル改訂第5版

今回の介入では、これらの側面を循環できるように支援を実施！

④効果検証（最終評価）

Br.stage . . . 上肢Ⅵ、手指Ⅵ、下肢Ⅵ

失語 . . . 単語レベルの表出がスムーズに！

3語文程度であれば可能

例) 将棋、今日も、勝った

FIM 運動項目66→90 認知項目23→28 合計89→119

ADOCによる面接

作業	反応	満足度
将棋・囲碁	退院してもできそう。	満足度 1→5
買い物	天ぷらを買えて良かった。 今後も行ける。	満足度1→5
畑仕事	なんとかできそう。	満足度1→5

評価領域	将棋・囲碁	セルフケア	機能訓練	畑作業
1 好奇心を示す	4	4	4	4
2 行為/課題を始める	4	4	3	4
3 新しい物事を試みる	4	3	3	4
4 誇りを示す	4	3	3	4
5 挑戦を始める	4	4	4	4
6 もっと責任を求める	4	3	3	4
7 誤りや失敗を訂正しようとする	4	3	3	3
8 問題を解決しようとする	3	3	3	3
9 好みを示す	4	4	3	4
10 完成や達成のために活動を続ける	4	3	3	4
11 活動に就いたままにいる	4	3	3	3
12 もっとエネルギー、感情、注意を向ける	4	3	3	4
13 目標を示す	4	3	3	3
14 ある活動が特別であるとか意味があることを示す	4	4	3	4
合計得点	55	47	44	52

自己効力感

自己効力感

- 「できる」と思う気持ちのレベル
- レベル0 必要な能力がないと思う
- レベル1 必要な能力はあると思う（能力の自覚）
- レベル2 必要な行動はできると思う（効力予期）
- レベル3 良い結果を出せると思う（結果予期）

できるという気持ちが安定している。
自然に実施し、必要に応じて難易度高い作業に挑戦する
気持ちが発言、表情から読み取れるぐらいの程度。

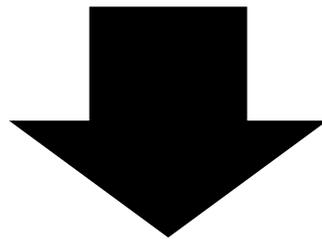
意志の側面を刺激し、 作業従事を促進させていく



退院先の検討（ゴールは？）

退院先として、以下を満たすグループホームをMSWに依頼

- ①将棋・囲碁・麻雀
- ②畑や花壇の作業が入居者と一緒にできる
- ③ご家族宅からも比較的近く、買い物にも出かけることができる



希望に限りなく近い、グループホームを発見！

さいごに

介入101日目にグループホームへ退院！

数か月後、施設を訪れると・・・

グループホームでは将棋盤を持って歩くA氏の姿が！

施設職員によると、将棋・囲碁以外にも麻雀をしたり、グループホームの花壇の手入れを手伝っているとのこと



ご清聴ありがとうございました！